

16-03-29

伊勢志摩サミットに向け、 駅や電車内におけるセキュリティの強化に取り組みます

名古屋鉄道では、5月26日(木)、27日(金)に三重県で開催予定の伊勢志摩サミットに向け、不測の事態に備えるべく、より一層の安全確保を目指した、駅や電車内におけるセキュリティの強化に取り組みます。

これは、平素より行っている警戒監視などの強化を目的に、愛知県警察など関係機関との連携を強化して実施するもので、テロ対策用の防犯カメラ、内部の確認できる窓付きゴミ箱の設置や、乗務員・駅係員の巡回警備の強化などを行います。

これらにより、見せる警備を実施することで不測の事態に備えるだけでなく、未然に防ぐ体制を構築し、より一層の鉄道の安全確保に努めます。

詳細は下記のとおりです。

記

1. テロ対策用防犯カメラの増設について

- (1) 増設駅 計 11 駅
- (2) 増設台数 計 27 台
- (3) 詳細 テロ対策用の防犯カメラを各駅に設置することで、犯罪等に対する抑止力を向上させます。
※増設分含め 209 駅 675 台を設置済



テロ対策用防犯カメラ

2. テロ対策用窓付きゴミ箱の設置について

- (1) 設置駅 計 15 駅
- (2) 設置台数 計 199 台
- (3) 詳細 窓付きのゴミ箱を設置し、容易に不審物を発見できるようにすることで、不測の事態が発生することを未然に防ぎます。
※順次設置中



テロ対策用窓付きゴミ箱

3. 乗務員・駅係員の巡回警備の強化

- (1) 取組対象 主要駅など
- (2) 詳細 乗務員、駅係員の巡回の回数を増やすとともに、警察など外部機関と連携し、警戒の強化に努めます。



巡視風景

以上